

1 単元「道案内をしよう」について

本単元では、建物や場所の名前、方向を表す英語表現等を使って、目的地までの道案内をすることに取り組む。その中で、道案内に必要な情報を相手に正しく伝えたり、聞き取ったりする活動を通して、相手に伝わった喜びや聞き取ることができた喜びを共有できるようにする。

生徒が関心意欲をもち、自信をもって学習することができるように、次の点を工夫する。

- ・パソコンで道案内のプレゼンテーションを作成し、それを活用して発表やクイズに取り組む。

- ・既習内容を生かして、スモールステップで無理なく学習できるようにする。

単元を通して、お互いが立場を変えて関わったり、よさを見つけて認め合ったりすることで生徒同士が関わりを深め、英語を通して楽しみながらコミュニケーション能力を高めることにつなげていきたい。

2 生徒の実態

どの生徒も「英語の授業は楽しい。」「英語が好き。」と感じている。また、安心できる環境の中では自己表出することができ、英語表現を楽しむ姿が多く見られる。しかし、少しでも不安要素があると、自身の力を十分に発揮できないことがある。

レディネステストの結果からは、次の実態が明らかになった。

- ・地図上で目的地までの道順を図示することはできるが、それを日本語で順序立てて書いて説明することが難しい。

- ・活動の見通しがないと、積極的に取り組むことができない生徒がいる。

従って、説明したいことを日本語で整理したり、モデル文を示したりすること等で、生徒が自信や安心感をもって活動に取り組むための素地を整えた上で、必要な情報を相手に正しく分かりやすく伝える力を付けていきたい。

3 研究内容と本時との関連

(1) 研究内容 について

本時は、プレゼンテーションを操作しながら、目的地までの道案内を英語で行うが、生徒が相手への伝え方を意識して英語で説明することは難しいであろう。そこで、次のようなステップを講じることで、生徒が相手意識をもって学習活動に臨めるようにしていきたい。

単位時間のねらいを明確に示し、モデル文を示したり、スモールステップで学習を進めたりすることで、個人追究の場での活動を充実させる。(個人)

聞く場や話す場を自然に成立させるために、プレゼンテーションを活用して発表し、仲間の前で話す経験を積ませる。(全体)

仲間の発表を視点を設けて聞き、それにつ

いて話す活動を繰り返すことで、自分の考えが仲間に伝わる充実感を味わわせる。(全体)

(2) 研究内容 について

単元を通して、毎時間の活動の成果を仲間の前で発表する場を位置付けることで、できた喜びを共有する。

本時は、道案内をする側とそれを聞く側の両者を各自が経験できるようにする。自分の道案内の説明を聞き、相手が目的地に着くことを確認する経験を通して、相手に伝えることができた喜びを味わうことができる。さらに、キーワードを強調した話し方や聞き手の反応を意識した話し方等、道案内の仕方のよさを具体的に価値付けることで、自己肯定感の向上を図りたい。

4 人権教育の観点から

実態調査から、本学級生徒は、安心できる環境の中では自己表出しながら英語表現を楽しむことができるが、少しでも不安要素があると、自身の力を十分に発揮できない弱さがあると分かった。そこで、人権教育の三つの力のうち、本時育みたい力を「相手の意向を正しく理解し、適切に応じようとする意欲(自己啓発力)」とし、自分が説明した道案内が相手に伝わったことを実感することで自信を付け、英語を用いて進んでコミュニケーションを図ろうとする姿を求めていきたい。

5 単元指導計画

単元入口の生徒の意識
 英語で道案内をするのか。地図に描くのは簡単だけれど、英語で説明するのは難しそうだな。どうしたら正しく説明できるかな。

| | 時数 | 課題と生徒の意識 |
|--|----------------------|---|
| 見 通 し | 1 | 単元の見直しをもつ 「道案内をしよう」の学習の流れを知ろう。 ・英語で道案内するんだな。今日、先生の日本語の指示でやってみたら楽しかったから、自分でも英語で道案内できるようになるといいな。 |
| | 2 3 4 | 道案内の仕方を日本語で考える までの道案内の仕方を日本語で考えよう。 ・日本語で、仲間に正しく道案内できるようになったよ。仲間の道案内も正しく聞き取って、目的地まで辿り着けるよ。 |
| 道 案 内 を し よ う | 5 6 | 道案内するための英文を知る までの道案内の仕方を英語で考えよう。 ・みんなで考えて、道案内のための文章を英語で書くことができるようになったよ。“Go straight~”や“turn left~”等を動きに合わせて組み合わせるとよいのだな。 |
| | 7 8 | 自分が決めた目的地までの道案内の仕方を英語で考える 自分が決めた目的地までの道案内を英語でしよう。 ・図書館までの道案内を、英語で書いたり話したりできるようになったよ。 |
| よ う | 9 10 11 | 道順を示すプレゼンテーションを作る スタート地点から目的地までの道順を示すプレゼンテーションを作ろう。 ・自分が伝えたい道順に合うように動くプレゼンテーションを作ることができたよ。これを使って道案内するのが楽しみだな。 |
| | 12 13 14 本時 | 英語で道案内する 話すtimingを意識して、英語で道案内をする練習をしよう。 ・プレゼンテーションが動くタイミングと話すスピードを合わせながら話すことができたよ。みんなの前でも上手に発表したいな。 英語で道案内する 話すtimingを意識して、英語で道案内しよう。 ・timingを意識して、図書館までの道案内を英語で説明することができたよ。 ・さんの説明を聞きながらコマを動かしたら、図書館まで辿り着けたよ。さんの説明は分かりやすかったよ。私も正しく聞き取ることができたのだね。 |
| 道 案 内 ク イ ズ を し よ う | 15 16 | 道案内クイズのための英文を考える までの道案内の仕方を英語で考えよう。 ・自分で考えて、道案内のための文章を英語で書くことができたよ。道案内クイズの出題の仕方も分かったよ。 |
| | 17 18 19 | 道案内クイズの答えを示すプレゼンテーションを作る プレゼンテーションソフトで道案内クイズの答えを作ろう。 ・クイズの内容に合わせたプレゼンテーションを作ることができたよ。早くクイズ大会をやりたいな。 |
| | 20 | 道案内クイズ大会をする 道案内クイズ大会を開こう。 ・みんな、分かりやすく道案内することができるようになったな。さんのクイズは、何度も角を曲がって難しかったけれど、正しく聞き取って、無事に目的地まで辿り着けたよ。クイズ大会、とても楽しかったな。 |
| | | |

単元出口の生徒の意識
 英語で正しく道案内ができるようになったな。自分の説明がみんなに伝わった時はうれしかったな。ただ説明するだけでなく、話し方を工夫すると、より分かりやすくなるな。これから、何を説明する時には、今回のように聞く人のことを考えて話したいな。

6 本時の目標

プレゼンテーションを操作しながら、目的地までの道案内を英語で説明する活動を通して、分かりやすい説明をするためにはプレゼンテーション提示と話すタイミングを合わせて意識して話すこととよいことを体感し、“Go straight～.”等、相手に指示を出す命令文を使って、聞き手が目的地に到着するように説明することができる。

7 本時の展開 (14 / 20)

| 段階 | 学習活動 | 研究内容 (,) 人権教育の観点 |
|------------------|--|--|
| つ か む | <p>1 帯活動 (Greeting) をする。 date/week/weather/feeling</p> <p>2 本時の位置を確認し、課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話す timing を意識して、目的地までの道案内を英語で説明しよう。</p> </div> | <p>・“I'm fine.” でない時には理由を尋ねて、落ち着いて学習に向かえるようにする。</p> <p>・単元全体の見通しがもてるような提示資料を準備し、本時の位置を知らせる。</p> <p>【個へねらうこと】</p> <p>TK : 自分の力で道案内ができる。</p> <p>MM : キーワードを強調して話すことで、より分かりやすい道案内ができる。</p> <p>OA : 聞き手に合わせて道案内ができる。</p> |
| 深 め る | <p>3 英作文プリントや地図を見ながら、発表練習や最終確認をする。(個人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって話すことができるように最後に練習しよう。 ・プレゼンテーションと話す timing がずれないように最終確認するぞ。 <p>4 全員が道案内をする側とそれを聞く側になりながら、道案内をする。(全体)</p> <p>Aさん：プレゼンテーションを使って、目的地までの道案内をする。</p> <p>B・Cさん：仲間の道案内を聞いて、コマを操作しながら目的地までの道順を確かめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>B : Excuse me. I'm looking for the library. A : I see. Go straight this street. <u>OK?</u> B・C : <u>OK!</u> A : Go straight and turn left at the third corner. <u>OK?</u> B・C : <u>OK!</u> A : Then go straight about 250 meters. You can see on your right. <u>OK?</u> B・C : <u>OK! Thank you.</u> A : <u>You're welcome.</u></p> <p>B・C : “Very good!” “I understand very well.” (活動後の評価としての言葉)</p> </div> <p>5 仲間の発表でよいと感じたことを伝える。(全体)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>「Aさんはプレゼンを動かすことと話すことの timing がばっちり合っていたので、説明がよく分かった。」</p> <p>「Bさんの説明は、動きの指示が聞き取りやすかった。」</p> </div> | <p>・個人練習の前に発表順を決めることで、活動への見通しをもたせる。</p> <p>聞き手は、説明をもとに地図上でコマを操作し、プレゼンテーション画面と見比べてながら道案内を聞くことで、仲間が正しく道案内の説明をできているか見届ける。(研究)</p> <p>・英語で反応する姿を使った英語表現を紹介しながら、価値付け広める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習活動4において、道案内に関する情報を聞き手が正しく聞き取ることができるように、話す速さやプレゼンテーション提示のタイミングを意識して活動できるようにする。 (自己啓発力)</p> <p>そのために、教師もB・Cと共に聞き手の立場になり、説明が分かったことをAに伝える“OK!”等を積極的に使う。自分の説明が相手に伝わったことを、話し手が活動中で何度も実感できるようにして、自分の活動に自信をもって安心して活動に取り組めるようにする。</p> </div> <p>【個への支援】</p> <p>TK : 発音の仕方が心配な英語表現にはルビを振っておき、アイコンタクトを取りながら活動を見守ることで、自分の力で発表をやり遂げた気持ちを味わえるようにする。</p> <p>MM : 発表原稿中の強調したいキーワードに色を付け、視覚的に捉えやすくする。キーワードを強調して話せた時には、大きく頷いたり、アイコンタクトを取ったりして、うまく活動できていることをMMが実感できるようにする。</p> <p>OA : 道案内開始時には教師はOAの近くにいるようにする。活動が軌道に乗ったら、徐々に距離を取り活動を見守ることで、自分の力で発表をやり遂げた気持ちを味わえるようにする。聞き手の反応を待たずに説明を続けようとした時には、笑顔で柔らかく言葉掛けをして、活動の修正を図る。</p> |
| ま と め る | <p>5 本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあてを意識して、道案内することができました。Bさんが私の説明の仕方をほめてくれたので、とてもうれしかったです。Cさんの説明はとても分かりやすかったので、まねしたいです。そして、クイズ大会でも、仲間に分かってもらえる話し方がしたいです。</p> </div> | <p>仲間の前で自信をもって堂々と発表できたことや、仲間の説明を正しく聞き取ったり、よさを伝えたりすることができたことなど、自己の伸びや集団への貢献を価値付ける。(研究)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準 (表現の能力)</p> <p>道案内の場面にふさわしい表現や正しい命令文を用いて、聞き手に道案内をしている。</p> </div> <p>【個への評価】</p> <p>TK : 分かりやすい道案内を、一人でやり切りました。</p> <p>MM : 話し方を工夫したので、道案内で特に強調したい動き方や方向がよく分かりました。</p> <p>OA : 聞き手の反応をよく見て、それに合わせて道案内ができました。</p> |